

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：常創戦略課 シートNo：124 作成日：2024/6/12

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅶ行財政運営の効率化	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1市民満足度の高い行財政運営を進める	市民ニーズの多様化や行政課題の高度化が進む中で、自治体単独での課題解決・まちづくりが難しくなっています。外部との連携を通して新しい手法や企業の持つノウハウを取り入れ、課題解決に取り組んでいく事が求められています。また、子どもたちの支援という意味でも、教育機関との相互協力は今後必要不可欠な状況にあります。	連携によって教育機関・民間企業の知見や人材、資金などを積極的に活用する事で、地域の課題を解決し、住民サービス向上に貢献します。特にAIまちづくり事業については市民へAIに親しみをもちつ機会を提供し、AIに対する認知・理解の促進を図るとともに、AI活用の機運醸成を狙います。
	施策	3連携事業		
	施策内容	教育機関・民間企業との連携		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	—		
事務事業名	教育機関・民間企業との連携事業			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	企画費
	事業	政策推進経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
包括連携協定締結	提携先企業・団体	7件（相談件数）	3件（相談件数）	26回（連携に基づく活動回数）	10回（連携に基づく活動回数）
あすなろの里でのAIマイクロモビリティ体験乗車	市民	4回	6回	延べ211人（参加者）	延べ300人（参加者）
市内小中学生を対象としたAI教育	市内小中学生	5回	4回	延べ540人（参加者）	延べ600人（参加者）
筑波大学・オリジナルオープンキャンパス	市内小中学生	1回	1回	53名	40名
水海道一高附属中・総合的探究	生徒	3回	1回	5件（市への提言）	3件（市への提言）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
AIまちづくりに係るプロジェクト数	1件	1件

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
□	コスト	■	活動	■	成果	□	その他	民間企業との連携協定については新規締結という事象に拘らず、既存の協定内容を再検討し、より充実させることで行政の課題解決力を強化します。そのため、今後は既存協定の活用状況を再度調査し実態の把握に努める必要があります。AIまちづくりにおいては「常総AIまちづくりコンソーシアム」の活動を本格化させ、広く市民や地元企業に興味関心を持ってもらうための事業を行っていきます。市内学校における総合的探究は今後も重要カリキュラムに位置する為、市内学校と円滑に進められるよう年度が変わった早い段階から計画を協議し、より多くの生徒達に行政や社会問題に興味をもってもらうよう取り組んでいきます。
業務の振り返り								
民間協力：商工観光課AIまちづくり係を新設し、AIまちづくりの取組を推進しています。AIマイクロモビリティの体験乗車や「AIまちづくりコンソーシアム」の設立等を実施しています。また、新たに3社と包括連携協定を締結しました。教育機関協力：市内学校の総合的探究の時間にて、社会的課題について学び、議論する機会を提供する事で教育環境の向上に寄与すると共に、若者目線からの意見を行政に取り入れることができました。								

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
AIまちづくりに関連する新規雇用者	0人	累計32人
転出者数	2,755人	2,700人